

令和8年度製品等のカーボンフットプリント算定体制構築支援業務

質問に対する回答

令和8年5月12日
和歌山県商工労働部
企業政策局成長産業推進課

Q 1 : 誓約書(様式2)では代表者印は必要かご教示ください。

A 1 : 代表者印含め、誓約書への押印は不要です。

Q 2 : CFPセミナーの開催回数は何回を想定していますか。

また、複数回にわたって開催することも考えられるでしょうか。

A 2 : 現状、1回の開催を想定しています。

Q 3 : CFPセミナーは現地/オンラインのどちらを想定していますか。

A 3 : 原則、現地及びオンラインのハイブリッド開催を想定しております。必要に応じて、後日録画配信も想定しております。

Q 4 : CFPアドバイザリー支援対象企業について、CFPセミナー開催後に決定するイメージでしょうか。

A 4 : 御認識のとおりです。

Q 5 : 成果報告会は関係者を招集して1回で開催するのか、それとも関係者ごとに複数回開催するのでしょうか。

A 5 : 支援対象企業が属する業界団体や関連企業群等を対象に、基本的にはまとめて1回の開催を想定しております。

Q 6 : 仕様書に記載の『2企業群』とは、同一企業グループ(親子・関連会社)を想定した表現でしょうか。それとも、業界団体等を単位とした複数社の集合を想定していますか。

A 6 : 後者を想定しております。

Q 7 : 支援対象企業の選定にあたり、セミナー参加状況以外に想定される観点(例:業種、輸出有無、取引先からの開示要請の有無等)があればご教示ください。

A 7 : 現状、セミナー参加状況含め、選定にあたり確定している確認項目等はありません。今後、例示いただいている内容含め、受託事業者と選定基準を検討していく予定です。

Q 8 : アドバイザリー支援の成果物について、委託者として想定する最低限のアウトプット(例:算定範囲設定の整理資料、データ収集項目一覧、社内役割分担表、算定手順のメモ/手順書等)があればご教示ください。

A 8 : アドバイザリー支援にあたり、提出いただく最低限の成果物については、例示いただいている内容でおおよそ相違ございません。なお、実施状況に応じて、追加で提出を指示する場合がございますので、御留意ください。

Q9：業務期間中の進捗報告（定例）の頻度や形式（例：月次、隔週、メール、オンライン会議、報告書様式の有無）について、現時点での想定があればご教示ください。

A9：原則、週次のオンラインによる定例打合せを想定しておりますが、確認事項の有無等に応じて、隔週等への変更は柔軟に行います。なお、報告書等の様式は任意です。

Q10：CFPセミナーの想定参加者数（目安）および参加対象の範囲（県内企業に限定か、支援機関・業界団体等の参加も想定か）について、想定があればご教示ください。

A10：想定参加者数については、厳密には決めておりませんが、30～50社程度（オンライン参加含む）を想定しております。参加対象の範囲については、県外企業は参加不可とする予定はございませんが、県内企業を中心に考えており、その他支援機関や業界団体等も参加対象とする予定です。